

科目名	地域医療薬剤学特論	選択	1単位
-----	-----------	----	-----

◎責任教員

担当教員	◎教授 安原 真人 教授 下平 秀夫、准教授 丸山 桂司、講師 安藤 崇仁						
------	--	--	--	--	--	--	--

開講年度	2022年度	配当年次	1～4年	配当学期	前期	授業方法	講義
------	--------	------	------	------	----	------	----

授業の概要	エビデンスに基づく医薬品等の適正使用に関する研究を通し、地域医療に真に貢献し得る薬剤師の育成を目指す。在宅医療等におけるチーム医療の中で、多職種と連携しながら薬剤師としての専門性を発揮するための方策について理解する。また、薬薬連携や社会福祉を理解し、患者のQOLの向上など、地域社会での薬剤師の果たすべき役割について理解する。
-------	---

授業の到達目標	地域医療に貢献する高度な薬剤師の育成を目指す。
---------	-------------------------

授業計画	回数	担当者	行動目標
	1	安原 真人 教授	本邦における地域医療の現状と課題について薬学の立場から概説できる。
	2	安原 真人 教授	EBMを実践する上でモデリング&シミュレーションの役割を概説できる。
	3	丸山 桂司 准教授	プレアボイド事例を通して、医薬品の適正使用の推進と患者の安全確保について説明できる。
	4	丸山 桂司 准教授	かかりつけ薬剤師・薬局がEBMを実践する重要性について説明できる。
	5	下平 秀夫 教授	薬剤師として地域福祉に貢献するため、医療政策と地域の薬剤師の役割について討議する。
	6	下平 秀夫 教授	薬剤師として社会に貢献するために、現在の医療の課題を各種報道から収集し、適切に評価・説明できる。
	7	安藤 崇仁 講師	在宅医療における薬剤師の役割と課題について説明できる。
	8	安藤 崇仁 講師	医療従事者の地域的偏在の現状について説明できる。

事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	地域医療について関心を深めるために、新聞やインターネットで地域医療に関する情報を調べておいてください。 事前学修：前回の授業内容（プリント等）を復習し、用語の意味等を理解しておくこと。 事後学修：授業中の疑問点をまとめ、プリント等を利用し、次回の授業までに解決しておくこと。 当該期間に30時間程度の予復習が必要となります。
----------------------	---

教科書	なし
-----	----

参考書	臨床薬学テキストシリーズ 薬学と社会-医療経済・多職種連携とチーム医療・地域医療・在宅医療、望月真弓、武居光雄、狭間研至編、2017年（中山書店）
-----	---

成績評価の方法および基準	講義で課すレポート80%、能動的学習態度20%で評価します。
--------------	--------------------------------

その他履修上の注意事項	提出されたレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行います。 この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解してください。
-------------	---